

2021年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年9月13日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7831 URL <http://www.wellco-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若林圭太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大槻健 (TEL) 076-277-9831
 四半期報告書提出予定日 2021年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第3四半期の連結業績(2020年11月1日~2021年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第3四半期	8,202	△7.1	289	—	299	—	183	—
2020年10月期第3四半期	8,825	△25.8	△216	—	△226	—	△105	—

(注) 包括利益 2021年10月期第3四半期 210百万円(—%) 2020年10月期第3四半期 △14百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第3四半期	7.47	—
2020年10月期第3四半期	△4.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第3四半期	12,949	5,674	43.8
2020年10月期	13,727	5,565	40.5

(参考) 自己資本 2021年10月期第3四半期 5,674百万円 2020年10月期 5,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年10月期	—	0.00	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日~2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△12.1	300	—	300	—	200	—	8.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 1社(社名) 株式会社関西ぱど

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期3Q	24,650,800株	2020年10月期	24,650,800株
② 期末自己株式数	2021年10月期3Q	52,690株	2020年10月期	52,690株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期3Q	24,598,110株	2020年10月期3Q	24,598,110株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予測数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年11月1日～2021年7月31日)における我が国経済は、2021年4-6月期のGDP成長率が、前期比で実質0.5%増(年率換算1.9%増)と2四半期ぶりのプラス成長となりました。企業のデジタル分野への投資の加速等により、設備投資は増加しましたが、半導体の供給不足は長期化の様相を呈しており、自動車産業等では生産計画の下方修正を余儀なくされております。一方、ワクチン接種が開始され、新型コロナウイルスの早期終息への期待は高まりましたが、デルタ株への感染が拡大したことから、首都圏、関西圏を中心に緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が断続的に発令されるに至りました。その結果、個人消費の回復を通じ景気を牽引すると期待をされた東京オリンピックは無観客開催となり、旅行や飲食需要の低迷は続いております。我が国におけるワクチン接種は着実に進んではいるものの、デルタ株による感染終息の時期はまだ見えておりません。ワクチン接種が進んでいる海外の先進国においても、再びデルタ株の感染拡大が懸念されております。また、日本企業の多くが進出している東南アジアにおいても、デルタ株への感染が拡大し、一時的工場閉鎖による部品不足などの影響が、国内においても現れてきております。さらには、緊張を続ける米中関係は、緩和の兆しを見せず、一層神経質な展開となっており、経済に与える影響は予断を許さず、先行きは極めて不透明な状況となっております。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発令され、飲食店に対する酒類提供や営業時間の短縮、各種イベントの縮小や観客数の制限、旅行等の外出自粛要請の継続等により、集客・告知用のチラシの受注量の減少、広告出稿量の減少によるフリーペーパー発行数の見直しによる印刷需要の減少等の影響を大きく受けました。一方で、ECサイトからの受注増や、顧客とのネットを利用した印刷発注システムの導入により、デジタル印刷の受注は堅調に推移しましたが、印刷需要全体の落ち込みをカバーするまでには至らず、セグメント売上高は6,985百万円(前年同期比3.8%減)となりました。その一方で、人件費を含めたコスト削減を進めるとともに、内製化を積極的に推進し、生産効率の向上を目指したことから、セグメント利益は514百万円(前年同期比452.5%増)となりました。今後もECサイトを充実させるとともに、紙媒体からデジタル媒体へのシフトに伍していくために、顧客の販促活動を紙媒体も含め総合的にサポートできる体制を強化するとともに、オンラインを含む営業活動を通して顧客満足度の向上を図り、受注量の拡大を目指してまいります。

メディア事業につきましては、当社が保有していた株式会社関西ぼどの残り39%の全株式を5月31日に譲渡したことから、当該会社が持分法適用会社からも外れました。さらに、当社が保有する株式会社アクティの全株式を7月30日に譲渡したことにより、同社も連結の範囲から外れたため、セグメント売上高は334百万円(前年同期比66.6%減)、セグメント利益は10百万円の損失(前年同期は35百万円の損失)となりました。

知育事業につきましては、幼稚園・保育園向けに、従来商品に加え、新型コロナウイルス感染防止関連商品の紹介を行うとともに、新たにダイレクト・メールやECサイトによる販売に注力を致しました。コスト面においては、在庫整理および各種経費の見直しを行い、経費削減を図りました。その結果、セグメント売上高は1,077百万円(前年同期比6.3%増)、セグメント利益は24百万円(前年同期は8百万円の損失)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,202百万円(前年同期比7.1%減)、営業利益は289百万円(前年同期は営業損失216百万円)、経常利益は299百万円(前年同期は経常損失226百万円)となりました。しかしながら、第1四半期において、電力料金急騰に伴う特別損失(臨時損失)76百万円を計上し、第3四半期においては、関西ぼど株式売却に伴う最終的な関係会社株式売却益63百万円を計上しましたが、投資有価証券評価損84百万円を計上すること等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は183百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失105百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

第3四半期連結会計期間末における総資産は12,949百万円と、前連結会計年度末に比べて777百万円減少いたしました。これは主として、受取手形及び売掛金の減少829百万円、リース資産の減少121百万円、現金及び預金の増加435百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は7,274百万円と、前連結会計年度末に比べて887百万円減少いたしました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少369百万円、長期借入金の減少309百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,674百万円と、前連結会計年度末に比べて109百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加86百万円、その他有価証券評価差額金の増加27百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期通期の業績予想につきましては、2021年9月10日に「(開示事項の経過) 子会社株式の譲渡に伴う特別利益の計上額の確定及び特別損失(投資有価証券評価損)の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,075	4,511
受取手形及び売掛金	2,542	1,712
商品及び製品	449	372
仕掛品	110	154
原材料及び貯蔵品	195	200
その他	211	168
貸倒引当金	△5	△1
流動資産合計	7,579	7,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,047	1,006
機械装置及び運搬具(純額)	478	412
土地	2,118	2,118
リース資産(純額)	1,084	963
その他(純額)	33	47
有形固定資産合計	4,762	4,547
無形固定資産		
その他	55	47
無形固定資産合計	55	47
投資その他の資産		
投資有価証券	978	919
長期貸付金	23	—
破産更生債権等	5	1
その他	338	328
貸倒引当金	△17	△13
投資その他の資産合計	1,329	1,236
固定資産合計	6,147	5,830
資産合計	13,727	12,949

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,372	1,002
電子記録債務	1,302	1,424
1年内返済予定の長期借入金	708	691
リース債務	235	241
未払金	501	505
未払法人税等	21	8
預り金	36	30
賞与引当金	39	14
設備関係支払手形	3	0
その他	168	96
流動負債合計	4,391	4,015
固定負債		
長期借入金	1,859	1,549
リース債務	956	814
退職給付に係る負債	512	440
繰延税金負債	339	354
資産除去債務	15	14
その他	88	85
固定負債合計	3,771	3,259
負債合計	8,162	7,274
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,758	1,758
利益剰余金	1,969	2,055
自己株式	△4	△7
株主資本合計	5,391	5,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168	196
退職給付に係る調整累計額	5	3
その他の包括利益累計額合計	173	199
純資産合計	5,565	5,674
負債純資産合計	13,727	12,949

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
売上高	8,825	8,202
売上原価	7,016	6,468
売上総利益	1,809	1,733
販売費及び一般管理費	2,025	1,444
営業利益又は営業損失(△)	△216	289
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	19	17
受取賃貸料	18	19
その他	23	26
営業外収益合計	62	65
営業外費用		
支払利息	43	37
持分法による投資損失	20	7
不動産賃貸原価	3	3
支払手数料	4	1
その他	1	5
営業外費用合計	73	55
経常利益又は経常損失(△)	△226	299
特別利益		
投資有価証券売却益	9	3
関係会社株式売却益	174	63
その他	0	0
特別利益合計	184	67
特別損失		
固定資産売却損	10	—
固定資産除却損	0	4
投資有価証券評価損	58	84
関係会社株式売却損	—	1
事務所移転費用	—	3
臨時損失	—	76
特別損失合計	69	170
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△111	196
法人税、住民税及び事業税	20	9
過年度法人税等	△28	—
法人税等調整額	1	3
法人税等合計	△6	12
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△105	183
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△105	183

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△105	183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	27
繰延ヘッジ損益	△5	—
為替換算調整勘定	0	—
退職給付に係る調整額	0	△1
その他の包括利益合計	91	26
四半期包括利益	△14	210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△14	210

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷事 業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,812	999	1,013	8,825	—	8,825
セグメント間の内部売上 高又は振替高	449	0	—	449	△449	—
計	7,261	1,000	1,013	9,275	△449	8,825
セグメント利益又は損失 (△)	93	△35	△8	48	△264	△216

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△264百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に株式会社ウィズコーポレーションの株式を売却したことに伴い、「知育事業」セグメントにおいて、のれんが328百万円減少しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷事 業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,791	333	1,077	8,202	—	8,202
セグメント間の内部売上 高又は振替高	194	0	0	194	△194	—
計	6,985	334	1,077	8,396	△194	8,202
セグメント利益又は損失 (△)	514	△10	24	528	△239	289

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△239百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であった株式会社関西ぱど及び株式会社アクティの全株式を譲渡したことにより、「メディア事業」から撤退しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

事業分離

(子会社株式の譲渡)

当社は、2021年2月1日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社関西ぱどの、当社が保有する株式の全部を譲渡することを決議いたしました。

1. 株式譲渡の概要

(1) 株式譲渡の相手先の名称

富岡 紀幸

(2) 譲渡した子会社の名称及び事業内容

名称 株式会社関西ぱど

事業の内容 生活情報誌、チラシ、パンフレット、商品カタログ集、商品見本等の制作並びに配布受託

(3) 株式譲渡の理由

生活情報誌の発行を主たる事業とする株式会社関西ぱどは、2014年6月に当社連結子会社となった後にメディア事業セグメントを構成し、これまでの間に当社グループの成長に貢献を果たしてまいりましたが、今後のグループ全体における経営資源の最適配分の観点から、株式を譲渡することに至りました。

(4) 事業分離日

2021年2月1日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡により、株式会社関西ぱどに対する当社の持分比率が100.0%から39.0%となったため、同社は持分法適用会社へ異動し、残りの39.0%の株式については、5月31日付で譲渡しております。

2. 実施した会計処理の概要

(1) 譲渡損益の金額

関係会社株式売却益 63百万円

(2) 譲渡した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内容

流動資産	403百万円
固定資産	39百万円
<hr/>	
資産合計	442百万円
<hr/>	
流動負債	122百万円
固定負債	155百万円
<hr/>	
負債合計	277百万円
<hr/>	

(3) 会計処理

当該株式会社の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を関係会社株式売却益として特別利益に計上しております。

3. 譲渡した子会社の事業が含まれていた報告セグメント

メディア事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高 311百万円
営業損失 △16百万円